

寒い日には、ガス給湯器の凍結にご注意ください

ガス給湯器には、凍結予防ヒーターが装備されている機種もありますが、特に気温の下がる夜間や早朝には、ガス給湯器や配管内の水が凍結して、お湯が出なくなる場合があります。

ご参考として、ガス給湯器の凍結予防方法をお知らせします。

<凍結予防方法>

① ガス給湯器(リモコン)の運転スイッチを「切」にしてください。

リモコンがない場合は、ガス給湯器のガス栓をしっかり閉めてください。

※この処置を行わないと次の処置②により、ガス給湯器が運転(燃焼)することがあります。

リモコンあり
⇒運転スイッチを「切」

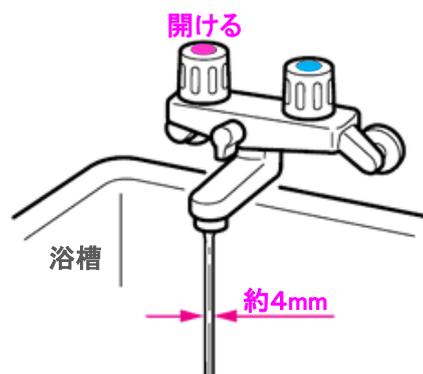


リモコンなし
⇒ガス栓を「閉」



② 給湯栓(お湯の出る蛇口)から、少量の水(1分間に約400cc・・・太さ約4mm)を流したままにしてください。

※水道代はお客さまのご負担となります。(浴槽などで受けると再利用でき経済的です。)



【ご注意】 ガス給湯器の電気コンセントは抜かないでください。

凍結予防ヒーターが装備されている機種は、凍結予防ヒーターが作動しなくなります。

<万一凍結した場合>

万一凍結した場合は、自然に解凍するまでお待ちいただくことをおすすめします。

解凍後、ガス給湯器本体や配管に水漏れなど異常がないことを確認のうえお使いください。